

令和元年度 県人会担い手育成招へい事業 報告書

期間/令和元年7月5日(金)～16日(火)



主催/福岡県

実施/公益財団法人福岡県国際交流センター

目 次

・概要	1
・参加者名簿	2
・全体プログラム日程	5
・プログラム内容	6
・参加者等の感想	11
・参加者レポート／子弟	12
・参加者レポート／リーダー	23
・参加者レポート／福岡県移住者子弟留学生	30

概 要

1 目的

海外福岡県人会会員の子弟を福岡県へ招へいし、様々な体験を通じ、福岡・日本に対する関心や興味を高め理解を促すことにより、今後の県人会活動の一翼を担い、福岡・日本との交流の核となる後継者を育成すること、併せて県人会の活性化を図ること。

2 期間

令和元年7月5日(金)～16日(火)

3 招へい者人数

9か国31名【内 訳】子弟19名、リーダー12名

国 名	子弟者数	引率者数
ブラジル連邦共和国	4	1
パラグアイ共和国	1	1
コロンビア共和国	1	1
ボリビア多民族国	2	1
ペルー共和国	2	1
メキシコ共和国	1	1
アルゼンチン	1	1
アメリカ合衆国	4	1
カナダ	3	1
合 計	19	12

4 実施項目・内容

(1) 同年代の子どもたちとの交流

小学校交流(古賀市、北九州市)・宗像市小学生とのデイキャンプ

(2) 福岡の魅力に触れる

福岡県内視察

(3) ルーツを探る

親戚宅、知人宅、家族会会員、ボランティア宅へのホームステイ

(4) 日本文化の体験

梅ヶ枝餅焼き体験、和紙漉き体験 等

5 主催／福岡県

実施／公益財団法人福岡県国際交流センター

共催／宗像市

参加者名簿

【参加者】 9 か国 12 県人会から子弟 19 名、引率者 12 名が参加しました。

No.	県人会名	引率者 子弟	氏名	性別	国名
1	ブラジル福岡県人会	子弟	平野 古賀 ラファエラ	女	ブラジル
2			古川 ペドロ エンリケ 裕一 植松	男	
3			石井 春花 ビクトリア	女	
4			権畑 前田 栄 マテウス	男	
5		リーダー	新垣 ファビオ 要吉	男	
6	在ボリビア福岡県人会	子弟	澤元 愛生	女	ボリビア
7			守田 咲希	女	
8		リーダー	秋吉 京美	女	
9	コロンビア福岡県人会	子弟	サンクレメンテ セルヒオ	男	コロンビア
10		リーダー	倉富 ウーゴ	男	
11	アルゼンチン福岡県人会	子弟	ラマヨオ 橋本 ラウタロ ヒロシ	男	アルゼンチン
12		リーダー	津留 ミカエラ	女	
13	メキシコ福岡県人会	子弟	オルテガ タナカ アユミ	女	メキシコ
14		リーダー	フェルナンデス 久保 アンジェリーナ 春美	女	
15	パラグアイ福岡県人会	子弟	石崎 龍馬	男	パラグアイ
16		リーダー	山崎 亜希	女	
17	ペルー福岡県人会	子弟	高島 市川 カルラ ヒカリ	女	ペルー
18			靱井 仲間 アキオ アドレス アレハンドロ	男	
19		リーダー	松藤 カルロス	男	
20	南加福岡県人会	子弟	川上 ソフィー 愛実	女	アメリカ
21			加藤 キャサリン 雅美	女	
22		リーダー	広中 恵	女	
23	シアトル・タコマ福岡県人会	子弟	トゥバチ ジェイムズ エリオット ナオキ	男	アメリカ
24		リーダー	山下 カスミ	女	
25	ハワイ福岡県人会	子弟	セッツ ヘルナンデス カイラ	女	
26		リーダー	タカザワ キミ	女	
27	トロント福岡県人会	子弟	イー 桜	女	
28		リーダー	冨永 花	女	
29	バンクーバー福岡県人会	子弟	三木 ソフィア あやか	女	カナダ
30		子弟	ホール 英恵 アンジェラ	女	
31		リーダー	タグチ ダイサク デイビッド	男	

【福岡県移住者子弟留学生】

No	県人会名	氏名	性別	国名
1	ブラジル福岡県人会	シルバー ジエゴ 石井	男	ブラジル
2		池尻 明美 カリナ	女	
3		江藤 エンヒッケ イチロウ	男	
4	コロンビア福岡県人会	坂本 サチ アンドレア	女	コロンビア
5	在ボリビア福岡県人会	岩瀬 ケービン 司	男	ボリビア
6	アルゼンチン福岡県人会	杉野 ニコラス アレハンドロ	男	アルゼンチン
7	ペルー福岡県人会	シバタ サウリルイス アンヘル コイチ	男	ペルー
8	メキシコ福岡県人会	寺本 飯田 利生 アルツーロ	男	メキシコ
9	南加福岡県人会	堀 大志	男	アメリカ

「福岡県移住者子弟留学生とは」・・・専門の知識と、日本、そして福岡県についての理解を深めるために、福岡県内の大学に1年間留学している海外福岡県人会の子弟。

【活動グループ】

参加者と子弟留学生で6つの活動グループを作り、プログラムに臨みました。

A	子弟：平野 古賀 ラファエラ 古川 ベドロ エンリケ 裕一 植松 石井 春花 ビクトリア 権畑 前田 栄 マテウス	リーダー：新垣 ファビオ 要吉 留 学 生：シルバー 石井 ジエゴ 池尻 明美 カリナ
B	子弟：澤元 愛生 守田 咲希 サンクレメンテ セルヒオ	リーダー：八田 京美 倉富 ウーゴ 留 学 生：岩瀬 ケービン 司 坂本 サチ アンドレア
C	子弟：ラマヨオ 橋本 ラウタロ ヒロシ オルテガ タナカ アユミ	リーダー：津留 ミカエラ フェルナンデス 久保 アンジェリーナ 春美 留 学 生：杉野 ニコラス アレハンドロ 寺本 飯田 利生 アルツーロ
D	子弟：高島 市川 カルラ ヒカリ 靱井 仲間 アキオ アドレス アレハンドロ 石崎 龍馬	リーダー：松藤 カルロス 山崎 亜希 留 学 生：シバタ サウリ ルイス アンヘル コイチ
E	子弟：川上 ソフィー 愛実 加藤 キャサリン 雅美 セッツ ヘルナンデス カイラ	リーダー：広中 恵 タカザワ キミ 留 学 生：堀 大志
F	子弟：三木 ソフィア あやか ホール 英恵 アンジェラ トゥバチ ジェイムズ エリオット ナオキ イー 桜	リーダー：タグチ ダイサク デイビッド 山下 カスミ 富永 花 留 学 生：江藤 エンヒッケ イチロウ

全体プログラム日程

期 日	時 間	内 容	宿泊場所	
7/5(金)	終 日	入国	グローバル アリーナ	
7/6(土)	午 前	オリエンテーション		
	昼	歓迎会		
	午後	小学校交流の準備		
7/7(日)	終 日	宗像市内の小学生、 青年派遣事業参加大学生との交流		
7/8(月)	午 前	太宰府天満宮見学、梅ヶ枝餅焼き体験		
7/9(火)	午 前	古賀市立舞の里小学校との交流		
	午後	宗像市内小学生との交流(日本文化体験)		
7/10(水)	午 前	北九州市立あやめが丘小学校との交流		
	午後	北九州市内視察		
7/11(木)	午 前	福岡市民防災センター、福岡タワー		
	午後	八女伝統工芸館		
7/12(金)	午 前	福岡県国際交流センター表敬		ホーム ステイ
	午後	福岡県庁・福岡県議会表敬		
		引率者会議		
		ホストファミリーとの対面式		
7/13(土) 7/14(日)	終 日	ホストファミリーとの交流		
7/15 (月・祝)	午後	送別会	グローバル アリーナ	
7/16(火)	終 日	出国		

プログラム内容

7月5日 (金)	◎入国
	9か国(ブラジル・ボリビア・パラグアイ・コロンビア・メキシコ・ペルー・アルゼンチン・アメリカ・カナダ)から子弟19名、引率者12名が来福。
	◎午前:オリエンテーション
	オリエンテーションでは、まず、リーダーと県費留学生に、事業の趣旨やスケジュールの説明をしっかりと理解してもらい、その後、子どもたちも含めて全員でオリエンテーションを行いました。
	福岡県国際交流センター家守事務局長からの歓迎の挨拶、スタッフ紹介の後、プログラムの趣旨や参加の心得、スケジュールの説明に加えて、参加者が自己紹介をしました。また、福岡県庁国際局のスタッフからは、福岡県や日本でのマナーについての説明も行い、参加者は真剣に学習していました。
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div>	
7月6日 (土)	◎昼:歓迎会
	グローバルアリーナ内レストラン「GA倶楽部」にて、歓迎会を行い、宗像市役所や福岡県海外移住家族会の方々など、総勢 59 名が出席しました。シアトル・タコマ県人会のリーダーである山下カズミさんが代表で挨拶しました。参加者同士、などやかに交流していました。
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div>
	◎午後:小学校訪問交流準備
	プログラム中に訪問する2か所の小学校で行う、母国についてのプレゼンテーションの準備をしました。子どもたちは各自準備していた写真や資料を使って、リーダーと県費留学生のサポートを受けながら、発表の準備や練習をしました。
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div>	

プログラム内容

◎終日:宗像市小学生との交流・青年派遣事業参加者との交流

宗像市内に住む国際交流に関心がある小学生19名と、グローバルアリーナでデイキャンプを行いました。午前中は、宗像の小学生と一緒に竹鉄砲を作り、野外で活動。お昼ご飯は、そうめん流しとおにぎりを食べました。午後は室内で、過去の青年派遣事業に参加した大学生も加わって、学生たちが用意したゲームをしながら、みんなで楽しい時間を過ごしました。

7月7日
(日)



◎午前:太宰府天満宮・梅ヶ枝餅焼き体験

2グループに分かれて、行動。梅ヶ枝餅焼き体験では、子弟もリーダーも先生の説明を聞きながら、それぞれが美味しく梅ヶ枝餅を作ることができました。

太宰府天満宮見学では、とても良い天気の中、グループごとに自由に散策し、写真を撮ったり、おみくじを体験するなど母国とは異なる日本文化を楽しむ様子が見られました。

7月8日
(月)



プログラム内容

<p>7月9日 (火)</p>	<p style="text-align: center;">◎午前:古賀市立舞の里小学校との交流</p> <p>舞の里小学校では、3年生と交流しました。小学生から、熱い歓迎を受けて、まず学校内を案内してもらいました。その後、県人会の子ども達が、準備してきた母国についての発表を行ったり、日本の遊びを体験したりしながら交流しました。お昼は日本の小学生と一緒に、給食を食べ、休み時間には子どもたち同士、運動場で走ったりするなどすっかり仲良くなりました。お別れの時には、日本の小学生が歌をプレゼントしてくれました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>7月10日 (水)</p>	<p style="text-align: center;">◎北九州市立あやめが丘小学校との交流</p> <p>6年生と交流しました。年齢が同じくらいであったこともあり、自然に交流できていました。グループに分かれて行動し、浴衣とお坊さんの体験、和太鼓体験をするなど、それぞれ違う体験をすることができました。給食をみんなで食べて、昼休みには仲良くなったグループ同士で、日本の遊びを楽しんで仲良く過ごし、掃除の時間には先生の指示に従い、床や階段の掃除、黒板の片づけなど、みんなで一緒に経験しました。学校を離れる時も、教室の窓から「さよなら」「またね」と大きい声で、日本の小学生たちが手を振ってくれていました。</p> <div style="display: grid; grid-template-columns: 1fr 1fr; gap: 10px;">     </div> <p style="text-align: center;">◎北九州市内視察</p> <p>小倉城見学では、展示物を興味深く見ながら学習できました。小倉城を背景にみんなで写真撮影し、リバーウォークで自由時間を過ごしました。小倉城近くのホテルで夕食をとり、食事の際に「いただきます」と自然と口にできるようになりました。</p>

プログラム内容

	 
<p>7月11日 (木)</p>	<p>◎午前:福岡市民防災センター・福岡タワー見学</p> <p>福岡市民防災センターでは、消火や地震、台風の体験を通して、いざという時に、どのような行動をとればよいかを勉強できました。</p> <p>福岡タワーでは、展望フロアから、福岡市内を見渡し、写真を撮ったり海を見たり、福岡市内の魅力探しをしました。</p>  
	<p>◎午後:八女伝統工芸館見学、手すき和紙うちわ作り体験</p> <p>福岡市内を出て、八女市にある八女伝統工芸館を訪ねました。2グループに分かれスタッフの説明を聞きながら、展示物を見学しました。また、手すき和紙でうちわを作る体験では、和紙から自分たちで作り、自分が選んだ押し花等で、うちわをデザインしました。</p>   
<p>7月12日 (金)</p>	<p>◎午前～午後:(公財)福岡県国際交流センター、福岡県庁・議会表敬訪問</p> <p>福岡県国際交流センターでは福島専務理事を表敬訪問し、リーダー代表の挨拶や、参加者も自己紹介をしました。</p> <p>その後、地下鉄を利用して福岡県庁に向かいました。当日、知事は急用でお会いすることができませんでしたが、県議会議長を表敬し、参加者は緊張した面持ちで、一人ひとり、自己紹介をしました。また、積極的に質問する様子も見られました。</p>

プログラム内容

	
<p>7月 13/14 日 (土・日)</p>	<p>◎ホストファミリーとの交流</p>
<p>7月 15日 (月・祝)</p>	<p>◎昼:送別会</p> <p>ホストファミリー97名と家族会会員あわせて、96名が参加し、送別会を行いました。子弟リーダー代表がひとりずつ感想を述べ、県費留学生からは歌の披露がありました。ホストファミリーとの最後の時間を楽しみました。</p>  <p>◎夕方:プログラムの振り返り</p> <p>アンケートの時間を設け、今までのプログラムを振り返る時間としました。参加者は、今日までの日々を思い出しながら、アンケートを記入しました。 最後の夕食を食べながら、みんな楽しく過ごしました。</p> 
<p>7月 16日 (火)</p>	<p>◎出国</p> <p>12日間のプログラムを終えて、全員無事に帰国しました！</p> 

参加者等の感想

アンケート抜粋

【子弟からの感想】

- ・異文化に触れることができ、同年代の子ども達と遊ぶのが楽しかったです。
- ・日本の小学校を訪問できて良かったし、小学校の日常や日本文化を学びました。
- ・小学校訪問で特に気に入ったことは、給食でパスタカレーを食べたことです。
- ・道がきれいで、誰も道でタバコを吸っていませんでした。公共交通機関はいつも時間通りに動いていて、食べ物はおいしかったです。
- ・折り紙が楽しかった。友達を作れたことが最高でした。
- ・福岡が好きになりました。ご飯、ゲームや友達、全部が良かったです。
- ・忘れられない経験でした。
- ・とても感謝しています。一生忘れられない思い出になりました。とても楽しかったです、これから多くの方が、このすばらしい体験ができるように、このプログラムを続けてほしいです。

【リーダーからの感想】

- ・小学校での発表資料作りの準備時間が用意されていて良かったです。できれば、ポスターをそれぞれの小学校に一枚ずつ渡すと良いと思います。
- ・子どもたちは、サッカーのような野外活動を一緒にさせたほうが良いと思います。
- ・一緒に来る引率者は、できれば子どもたちと同じ性別であるべきだと思います。
- ・食事の度に、参加者同士の交流を楽しむことができました。
- ・引率者だけの部屋があればもっとそれぞれの県人会での活動、メンバーシップとイベントに関するプロジェクトと戦略について議論することもできると思います。
- ・このプログラムは、とても整っていて、良かったです。もっと自然と触れ合える活動があれば、尚良いと思います。
- ・もっとスポーツのような活動があると良いと思います。

参加者レポート

子弟

A グループ



ブラジル福岡県人会
平野 古賀 ラファエラ
Hirano Koga Rafaela

「プログラムで得たこと・学んだこと」

はじめて日本へいきました。ブラジルと日本の文化が、とてもちがうことに気がつきました。食べ物も、まだ食べたことのないものがたくさんありました。小学校訪問やいろいろなことを体験して、もっと日本のことが知りたくなりました。ブラジルから一緒に参加した人たちや、日本で親しくなった人たち、すてきな友だちがたくさんできました。この思いでは、一生わすれません。また行きたいです。このような体験ができたのは、福岡県人会のおかげだとおもいます。心から、かんしゃしています。

～親御さんからのメッセージ～

まず初めに、ラファエラがこの事業に参加するため、いろいろお世話をしてくださった方々に心から感謝します。様々な文化や学校体験、そして日本や他国の子どもたちとの学校交流などで構成されたこの事業は、本当に素晴らしいです。例えば、私たちが子どもに日本旅行をさせたとしても、これほどいい経験をさせることができなかったと思います。娘は一段と成長したように感じます。日本文化や、自分の祖先がどのようにブラジルに来たのかということにも大きな興味を抱き、日系人であることに誇りをもつようになりました。日本は物事が整っていて、子どもたちは礼儀正しいことが印象に残ったそうです。これからも娘は日本語の勉強を続け、また日本へ行きたいと励んでいます。日本でできた多くの友だちと、今もメッセージ交換をして楽しんでいます。皆さま、本当にありがとうございました。

A グループ



ブラジル福岡県人会
古川 ペドロ エンリケ 裕一 植松
Furukawa Pedro Henrique Yuichi Uematsu

「プログラムで得たこと・学んだこと」

ぼくは日本へ行って、たくさん思い出ができました。日本はとても素晴らしい国です。この事業に参加できて、ほんとうに楽しかったです。日本文化や日本語もすこし学びました。学校でみんなと給食や、掃除をしたことはとても良い経験になりました。ホストファミリーのお父さん、お母さんとすごして、いろいろなことを見たり、おいしいものをたくさんいただいて、みんなに親切にもらったことは、忘れられません。いつか、日本へ留学できるようにがんばります。ありがとうございます。

～親御さんからのメッセージ～

息子がこの事業に参加させていただいて、本当に貴重な経験をさせていただきました。初めて両親なしでの海外旅や一人の生活の経験は、子どもに責任を感じさせて、少し成熟したと思います。その他、日本語の勉強に興味を持つようになった事は、一番重要な変化だと思います。先祖の歴史や文化などを学びたいと、意思を示すようになったのも、この事業のおかげです。県人会の皆様、並びに福岡県国際交流センターの皆様から心から感謝申し上げます。



ブラジル福岡県人会
石井 春花 ビクトリア
Ishi Haruka Victoria

「プログラムで得たこと・学んだこと」

福岡県に行っているいろいろな国の子どもたちと交流ができて、とても楽しかったです。日本と福岡県の文化について、経験ができて楽しかったです。ホームステイも、とてもいい3日間を過ごすことができ、本当にうれしかったです。買い物もたくさんしました。県庁にあいさつをしに行き、県知事様に会えなかったことがちょっと残念でした。

この事業に参加することができて、とても感謝しています。

～親御さんからのメッセージ～

海外での経験は、人として、何より良い経験だと思います。ご先祖様の出身地に行くことができ、娘はとてうれしかったと言っています。

今後も日本と福岡県の文化について、もっと知りたいと言っています。地球には、ブラジルだけではないことも、娘は何となく感じとったと思います。



ブラジル福岡県人会
権畑 前田 栄 マテウス
Gombata Maeda Shigue Matheus

「プログラムで得たこと・学んだこと」

今回、この事業に参加して、ぼくはたくさんのことを学びました。楽しい事をたくさんして、旅行にもつれていってもらいました。いろいろな国のお友達とお話しができて、とてもおもしろかったです。

松延さんの家にホームステイをして、おじいちゃんの生まれた所へつれていってもらいました。おじいちゃんのいとこの古賀さんの家に行き、とても感激しました。すごく楽しい15日間でした。

～親御さんからのメッセージ～

まず、最初に、心からお礼を申し上げます。息子の栄は、この事業に参加する前は、ふつうの子どもでしたが、家へ戻って来た時の態度は、大きく変わっていました。物事に責任を持つようになり、とても素直になりました。

Bグループ	
	コロンビア福岡県人会 サンクレメンテ セルヒオ Sanclemente Sergio
「プログラムで得たこと・学んだこと」	
<p>私は、このプログラムに参加したことで、自分に自信を持てるようになり、自立心の必要性や他人やかぞくとの接し方を学びました。また、私は、祖先についてや、日本文化、コロンビアと日本との違いを知りたいという意欲がわいてきました。日本へ行く前は少し不安がありましたが、両親なしで旅行ができて自分に自信を持てたし、日本人の親切さを感じました。今では、自立心が強くなり、自分に自信を持ち、落ち着いて行動できるようになりました。また日本へ行きたいです。</p>	
～親御さんからのメッセージ～	
<p>息子は、プログラムを通して大きく成長して帰ってきたと感じました。彼は穏やかで少し内気な子どもですが、プログラム後は、彼の行動や受け答えから見て、目標にもっと積極的に向き合うようになりました。祖先の日本文化に触れたことで、彼はコロンビアの文化とは大きく違うとわかった新しい世界を、もっと知りたいと思っています。プログラムに参加する前は、親無しで旅行するというこの挑戦をとっても怖いと言っていましたが、日本の皆様のおかげで、彼は落ち着いて行動でき、安心したと言っていました。この事業が、彼にとって良い成長になったと思います。</p>	
Bグループ	
	在ボリビア福岡県人会 守田 咲希 Morita Saki
「プログラムで得たこと・学んだこと」	
<p>私がこのプログラムで学んだことは、おばあさんの故郷福岡のすばらしさと人の温かさです。得たものは自信、福岡の文化に触れたり、小学校の子どもたちと楽しい時間を過ごしたり、いろいろな場所の見学や初めての体験もたくさんさせてもらいました。福岡はとても良い場所で、大好きになりました。日本でお世話をしてくれた方々、小学校でいろいろなことを教えてくれた子どもたちや先生方、同じプログラムに参加していた他国の子どもたちや引率者の方々、ホームステイをさせてくれた小林さんなど、多くの人たちにやさしくしていただきました。親から離れた遠い日本で不安だった私は、皆さんのおかげで楽しい日々を過ごせました。私の一生の宝です。自分に自信もついて少し精神的にも強くなりました。また福岡に行くためにも勉強を頑張ります。ありがとうございました。</p>	
～親御さんからのメッセージ～	
<p>今回娘がこの事業に参加して、福岡のすばらしさや人のやさしさに触れ、様々な体験をさせて頂いた結果、娘にたくさんの変化がありました。多くの方々と接して人前で発表する機会があったこともあり、自分に自信が付き、自分の考えや思いをきちんと伝える事ができるようになりました。親元を離れてたくさんの方々に助けられ、人のやさしさを体で感じた娘は、皆さんに感謝して今まで以上に人に優しく接するようになりました。福岡の事が大好きになった娘。日本で学んだことを忘れず、出会った方々や福岡とのつながりを大切にしながら成長して行ってほしいです。福岡へまた行きたいとただ今勉強中です。お世話になった皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。</p>	

Bグループ



在ボリビア福岡県人会
澤元 愛生
Sawamoto Mao

「プログラムで得たこと・学んだこと」

このプログラムに参加できて、とても楽しかったです。いろいろな体験をして、福岡の文化に触れたり、色々なところに行けて、とてもいい思い出ができました。一番良かったと思ったことは、私と同じ年で、私と同じように福岡にルーツをもつ友達がたくさんできたことです。連絡先を交換して、帰国した後も日本でしたことを話したりしています。今後は県費留学生として、その次はこのプログラムのリーダーとして、また福岡へ行きたいです。一生忘れられない思い出ができました。ありがとうございました。

～親御さんからのメッセージ～

今回、この事業に参加させていただき、娘にとってとても貴重な経験になりました。他国の日系人の子ども達との団体生活や、日本の子ども達やお世話をしてくださった方々との交流の中で得た体験、友情や知識、そして自分には福岡という素敵な故郷があるのだということ。それらすべてが、今まで彼女が考えたことなかったアイデンティティを、初めて意識するきっかけになり、福岡にルーツを持つ日系ボリビア人としての自分の役割を、少し考えるようになったと思います。そして、福岡にまた戻りたいという夢は大きくふくらみ、友達と誓い合ったように「また次は県費留学生として福岡で会おう」という目標をもって、これからのボリビア福岡県人会の活動に深く関わっていくのだと、希望も含めて思っております。本当にありがとうございました。

Cグループ



アルゼンチン福岡県人会
ラマヨ 橋本 ラウタロ ヒロシ
Ramallo Hashimoto Lautaro Hiroshi

「プログラムで得たこと・学んだこと」

私の中で、日本を訪れることは、夢の1つでした。なぜかという、日本人の祖父母の国と文化を知りたいと思っていたからです。日本の学校は、とても素敵で、アルゼンチンより勉強時間が多い所や、子ども達が自ら掃除をして、昼食も自分たちで準備をして学校で食べるのもいいなと思いました。牛乳パックをリサイクルするのも興味深かったです。引率者のミカエラと県費留学生のニコラスと一緒に時間も楽しかったです。ニコラスさんとは、他の子達と一緒にサッカーをして遊び、お風呂にも入りました。他国からきた子ども達とも、たくさんのことを学び楽しみました。今でも、電話で話す子もいます。日本の親戚の叔父や従兄弟にも初めて会いました。お布団で寝られたことも、とても良かったです。福岡県人会の皆さん、このような貴重な経験をさせていただきありがとうございます。この経験をアルゼンチンに帰国後、家族や友達、学校の同級生にも話しました。また、ぜひ日本に行きたいです。

～親御さんからのメッセージ～

ラウタロは、この旅行についてとてもワクワクしていました。日本語を話せないので、少し不安もありました。自己紹介を練習し、日本についていろいろ調べました。祖父にもいろいろ話を聞いていました。日本をととても気に入り、新しい場所を訪れ、新しい人と知り合い、一緒にゲームをし、食事をして、日本の親戚にも会えました。新しい友達もできて、人との交流が、とても大事なことだとわかり、このことを決して忘れないと思います。帰ってきてから、ずっとアルゼンチンと日本を比較しています。また、日本へ行きたいとも言っています。

Cグループ



メキシコ福岡県人会
オルテガ タナカ アユミ
Ortega Tanaka Ayumi

「プログラムで得たこと・学んだこと」

今回、福岡県へ行くことができ、とても嬉しかったです。日本へは行ったことがありましたがひいおじいちゃんたちの故郷である福岡県を知りたいと思っていました。

日本の小学校では、皆で協力して学校の掃除をしていて、私の学校でもやってみたくと思います。福岡市民防災センターでは、災害の時に、すべきことがわかりました。ホストファミリーの宮本家は、とても好きでした。ホームステイでは、人と交流することや、コミュニケーションの大切さがわかりました。私は日本語が少ししか話せませんが、もっと日本語の勉強をしたい気持ちが強くなり、将来日本へ行く時に、日本語でコミュニケーションがとれると良いと思います。今は皆と過ごした時間が恋しくなり、日本の素晴らしい文化のことをもっと勉強したいと思っています。日系人であることに誇りを持つことができ、私の日本人としてのルーツを知れたことをとてもありがたく思っています。

～親御さんからのメッセージ～

この事業に参加して、彼女は、日本についてまだまだ知らないことがたくさんあることに気付いたと思います。メキシコへ帰国後、彼女は自ら他の人ともっと交流したいという気持ちを持ち、自分の意見を言うようになり、家族や家庭のことをもっと手伝うようになりました。また、日本語を学ぶ意欲が高まり、自分の日本のルーツに誇りを感じるようになっていきます。今回のこの事業に1人で参加したことで、自分のルーツをより認識するようになり、両国の文化の違いと似ているところに気づけるようになったのではないかと思います。娘をこの事業に参加させていただき、とても嬉しく、心から感謝のお礼を申し上げます。今後、娘はメキシコ福岡県人会の行事に、もっともっと参加したいという気持ちになっていて、また、他のプログラムで福岡県を訪問できることを楽しみにしています。

Dグループ



ペルー福岡県人会
高島 市川 カルラ ヒカリ
Takashima Ichikawa Carla Hikari

「プログラムで得たこと・学んだこと」

フランスの空港で他の国と参加者と一緒になり、すぐ友達になりました。福岡に着いたのは午後8時ごろで、グローバルアリーナに行き、留学生たちが案内をしてくれました。福岡ではいろいろなところに行き、数日間雨が降りましたが、それでも楽しかったです。私たちは2つの小学校に行き、3年生と6年生の子どもたちに歓迎されました。そこで一緒に遊んだり、食べたりして、新しい友達を作りました。福岡タワーや太宰府天満宮も訪れました。福岡はきれいなところです。ホームステイで、私はキャナルシティやポケモンセンターや海ノ中道に連れて行ってもらい、とても嬉しかったです。最後の日に友達と別れるのは、とても悲しかったです。一生忘れられない思い出になりました。福岡県国際交流センターの皆さん、どうもありがとうございました。

～親御さんからのメッセージ～

娘が他国からの福岡県人会の子どもたちと仲良くなることができ、日本の習慣に触れる機会を与えてくれたことを感謝しています。娘は、前以上に日本に興味を持つようになりました。彼女は少し恥ずかしがりやで、長い間家を離れることが初めてでしたので、とても心配していましたが、帰ってきてから、自分のことは自分でできるようになり、少し大人になったようでとても嬉しいです。福岡県国際交流センターには感謝の気持ちでいっぱいです。この事業を長く続けていただけるように、お願いします。大変お世話になりました。どうもありがとうございました。

Dグループ



ペルー福岡県人会
 梶井 仲間 アキオ アドレスアレハンドロ
 Momiy Nakama Akio Andres Arejandro

「プログラムで得たこと・学んだこと」

私の兄が、以前参加したことがあり、とても良かったよと言っていたので、福岡へ行くことをすごく楽しみにしていました。羽田空港でスーツケースをなくしてしまったけれど、すぐに見つけて日本は安全な国だなと思いました。グローバルアリーナで、様々な国の子どもたちと一緒に過ごし、広い部屋で本当に気に入りました。日本の小学校は、私たちを優しく迎えてくれて、新しい友達には二度と会えないかもしれないけれど、遊んだり掃除をしたりして楽しかったです。私たちの母国についての発表は、みんなが興味を持って聞いてくれました。太宰府天満宮はとても素敵で、手水で手を清めて、お賽銭で5円玉を入れるなどの伝統を学ぶことができました。自分で作った「梅が枝餅」は、特別においしかったです。福岡タワーは今まで見た中で一番高いタワーで、驚きました。ホストファミリーの松田さんは、とても親切で、ペルーに帰ってから、「福岡で一番気に入ったことは」と何度も聞かれましたが、私はいつも「全部」と答えています。皆さん、どうもありがとうございました。

～親御さんからのメッセージ～

息子は、日本の文化や食べ物に興味を持ち、日本語を勉強することに熱心で、このプログラムをとても楽しみました。彼は福岡で見たもの全てが好きだったので、日本に帰りたと思っています。彼は私に、日本料理の本を買いたいと言って、今はお寿司や天ぷらを作りたいと言ってきます。初めてこんなに長い間一人で家を離れ、帰国後は、自分のことは自分でできるようになりました。福岡県国際交流センターの皆さんに感謝しています。どうもありがとうございました。

Dグループ



パラグアイ福岡県人会
 石崎 龍馬
 Ishizaki Ryoma

「プログラムで得たこと・学んだこと」

今回僕は、日本に行くチャンスをいただけて、本当に嬉しかったです。日本では、たくさんのことを学びました。まずは、家族以外の人達と生活することで、“自分の事は自分でする”ということ学びました。誰かにしてもらうのではなく、自分から進んでやる、ということです。僕は、日本語が話せることでこんなに友達の輪が広がるのかと思うと、とても嬉しくて、もっともっと日本語を勉強しようと思いました。また“栄養のバランスを考えた食事の大切さ”も学びました。早寝早起きの大切さも学びました。夜十分に睡眠を取ることで一日の集中力につながるということです。団体行動も学びました。集団で行動するには、“自分の都合で勝手なことをしてはいけない、それぞれが責任を持ってみんな一緒に行動しなければいけない”ということです。たくさんのことを学ばせて頂き、本当にありがとうございました。

～親御さんからのメッセージ～

息子は、生まれて初めて親元を離れて家族以外の人達と二週間を過ごしました。その二週間は、“家族と連絡を取らず、自分で責任を持って行動する”と約束させ、携帯電話も持たせませんでした。二週間後、帰って来た息子は驚くほどたくましくなっていました。今回家族以外の人達と二週間過ごせたことが自信につながったようで、“まずは自分一人でやってみよう”という姿勢が見えるようになりました。11歳で日本に行けたことで、息子の視野が広がったことも成長の一つです。“世界はこんなに広いんだ”、“それぞれの文化があって、教育があるんだ”と自分自信の肌で感じたようで、“また福岡に行きたいからこれからも勉強をがんばる”と言ってきます。また、外国の友達がたくさんできたこともとてもうれしくて、また友達みんなに会いたい、英語しか話せない友達とも会話ができるようになりたいので、英語を勉強したいと語学にも興味を持つようになりました。今回、息子をこの研修に参加させて頂いたことを、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

Eグループ	
	南加福岡県人会 川上 ソフィー 愛実 Kawakami Sophie Manami
「プログラムで得たこと・学んだこと」	
<p>私は、福岡に行き、いろいろな経験をしました。親がいない所で、同じ年の子達と一緒に寝泊まりし、短い時間でしたが楽しい日々を過ごし、一人で生きる事に新しい光を照らしてくれました。</p> <p>また、福岡では、文化や歴史などたくさんの事を学びました。例えば、日本中でも福岡県八女市にしかない、特別なお人形や実際の舞台を見られた事、太宰府名物の梅ヶ枝餅を作り食べる経験もできました。その他に、日本の小学校を体験できた事で、日本とアメリカの小学校の違いを知る事ができました。最後に、福岡に行けた事で、いっぱい新しい事を経験し学び、私の文化と家族の歴史の事をもっと知れて、今までより深く感謝する気持ちになりました。ありがとうございました。</p>	
～親御さんからのメッセージ～	
<p>娘は、一人でアメリカを離れるのが初めてで、福岡へ旅立つ前は不安と心配でいっぱいでした。しかし、帰国後は一回り遅しくなり成長したように思えました。たくさんの出会いと、体験をさせて頂いて娘は自信を持ち、今では県費留学生として福岡に戻りたいと希望に満ちています。</p> <p>福岡県にゆかりのある、世界中の同年代の子ども達や引率者の方達と寝泊まりをし、同じ思いで福岡の文化と歴史に触れる事ができました。その結果、娘の福岡への思い、また世界中に福岡という共通点を持った友達がいる事に、喜びと幸せを感じるようになりました。また、親として一番嬉しく思うのは亡き父への感謝、この経験を実現して下さった全ての方達に心から感謝、父の故郷である福岡を通して感謝の心を、より深く理解できた事です。本当に有難うございました。</p>	
Eグループ	
	南加福岡県人会 加藤 キャサリン 雅美 Kato Katharine Masami
「プログラムで得たこと・学んだこと」	
<p>私はこの旅行から、たくさん日本の文化や生活、温泉などについて学びました。</p> <p>プログラムが終わって、私はもっと日本の食べ物を食べてみたいと思いました。また、もっと日本語や福岡の事、そして私がどこから来たのか、ルーツを知りたいと思いました。ありがとうございました。</p>	
～親御さんからのメッセージ～	
<p>雅美は、このプログラム以前は、アメリカから外へ行ったことがありませんでした。地図で日本、福岡は見ましたが、実際どれほど遠いかはよく知りませんでした。</p> <p>プログラムが終わって、彼女は日本と日本語について学びたいと思うようになったし、日本の食べ物を実際食べてみて気になったそうです。彼女は近いうちに、また福岡に行きたいと言っています。</p>	

Eグループ



ハワイ福岡県人会
セッツ ヘルナンデス ケイラ
Settsu Hernandez Kayla

「プログラムで得たこと・学んだこと」

素晴らしい機会を与えていただき、ありがとうございます。日本文化についてより多くのことを学ぶことができ、とても楽しかったです。私の母が言った通りで、この経験は旅行では体験できないものでした。最も思い出深い経験の1つは、小学校に行ったことです。アメリカから来た他の参加者と一緒に、ハワイについて発表する機会がありました。小学生の皆さんは私たちに、どうやって学校をきれいに使うのか教えてくれて、とてもおいしい給食を食べました。私のホームステイ先もすばらしく、家族の皆さんは市長さんへの表敬訪問をさせてくれたり、昼食や夕食会を準備してくれたり、ハーモニーランドに連れて行ってくれたりと、いろんな経験をさせてくれました！私は皆さんから歓迎してもらっていると感ずることができ、皆さんが私にしてくださったことに感謝します。世界中から来た他の参加者と友達になって、素晴らしい時間を過ごすことができました！また、自分の殻を破ってグループの人たちと一緒に踊った思い出は、今でも信じられません！素晴らしい引率者と県費留学生たちに改めて感謝します。日本で私が経験したことを友達や家族に紹介し、いつか日本に戻るのを待ちきれません。

～親御さんからのメッセージ～

ケイラは自宅を離れることを少し怖がっていましたが、日本文化を学ぶことにとってもワクワクしていました。帰国後、彼女はこれまでよりも自信を持った人間に成長していました。彼女は恥ずかしがり屋ですが、このプログラムがどれだけ楽しかったかについて話すときは、その恥ずかしがり屋がどこかへいってしまったかのようです。彼女の最近の挑戦は、学校の授業でグループ作業をすることでした。彼女は、このプログラムと同様に、他の子とペアになり、グループのリーダーとして、皆を率いました。以前のケイラは、リーダーの補佐となることが多く、自分の意見を言うことはあまりありませんでした。このプログラム後、彼女は、日本文化を学び、食事の前に「いただきます」というようになりました。彼女は、新しいことに挑戦するようになり、今では、人前で話すことにも慣れてきているようです。このような貴重な機会を与えてくださり、感謝いたします。

Fグループ





シアトル・タコマ福岡県人会
トウパチ ジェイムズ エリオット ナオキ
Tupaj James Elliot Naoki

「プログラムで得たこと・学んだこと」

福岡県と日本のおかげで、私は少し日本について勉強できました。このプログラムの中で特によかったのは、リバーウォークと「和紙」でうちわを作ったことです。ブラジルから来た子どもたちと、サッカーをして遊んだことも忘れません。また、おじさんの鹿毛みつのりさん宅で、3日間ホームステイしたことが、たいへん楽しかったです。特に、みつのりおじさんと、大きなお風呂のある銭湯に一緒に行ったことが、めずらしく思いました。また、お母さんと一緒にぜひ、福岡県を訪問するのを楽しみにしています。ありがとうございました。

～親御さんからのメッセージ～

このプログラムがジェイムスのみならず、私たち家族一同にとって、人生の一つのポイントになった事はたしかです。日系3世の私、4世のジェイムスのルーツである福岡市と日本国との絆アイデンティティを認識するユニークなチャンスでした。彼は、今回、日本在住家族とは初対面にも関わらず、叔父の鹿毛光徳様のおかげで、皆さんに大歓迎していただき、約90年前にブラジルへ移住されたひいおじいさんの写真を見たり、先祖の墓参りをしたりなど、きっと一生忘れられない素晴らしいホームステイができました。ジェイムスの帰国後、すぐに感じたのは今までの親子いっしょの海外旅行とちがいで、一人で初めての国、しかも言葉が不十分な日本に旅行するのが心配でしたが、一回り成長したように思いました。今回の旅行で彼が学んだ日本文化を、彼自身、私たち家族一同にもっと、もっと、日本について引き続き勉強させていただきます。シアトル・タコマ福岡県人会のみならず各海外福岡県人会が母国との絆をより強く、これまで築き上げた先祖のたくましい、誇り深い海外移住歴史を忘れないよう協力させていきたいと存じます。ありがとうございました。

Fグループ	
	トロント福岡県人会 イー 桜 Yee Sakura
「プログラムで得たこと・学んだこと」	
<p>私は、福岡に行く前は、どんな人に会うのか、どんなところに行って泊まるのかわからなくて少しこわかったです。でも行ってみるといろいろなことが分かりました。まず福岡は、山や森があってきれいな所がたくさんありました。その中でも私がとても気に入ったところは、福岡タワーでした。とても景色がよかったです。次に、しらなかったことは、福岡に地震があることでした。地震があったときのための、避難訓練をしました。それから福岡の人たちは優しく親切な人が多いです。わからない事は、みんな親切に教えてくれました。他には、いろいろな国に福岡とつながっている人がたくさんいることです。その国で、みんな日本語を話そうとがんばっていることが分かりました。いろいろな国の人と友だちになってとてもうれしかったです。また、福岡に行きたいです。</p>	
～親御さんからのメッセージ～	
<p>桜が福岡で貴重な経験をさせて頂きまして、本当に心から感謝しています。人前で話すことがあまり得意ではなかった桜ですが、福岡では、日本語でカナダの事を紹介したり、自己紹介がきちんと出来たと聞きました。帰って来た時に、このプログラムで知り合ったお友達の事、プログラムで行った先の事、あった事、ホームステイの事など笑顔で話してくれました。このプログラムに参加したことで、精神面が強くなったのと、人前で少し話が出来るようになった事、さらに日本語が上達して帰って来たような気がします。福岡の良い所、見て、聞いていろいろな事を吸収して帰って来たと思います。この機会をあたえていただいた、福岡県国際交流センターの皆様にお礼を申し上げます。</p>	
Fグループ	
	バンクーバー福岡県人会 三木 ソフィア あやか Miki Sophia Ayaka
「プログラムで得たこと・学んだこと」	
<p>このプログラムに参加でき、私は福岡県の事をもっと深く知ることが出来ました。福岡県の伝統文化（八女でのうちわ作り、太宰府での梅が枝餅作りや、そうめん流しなど）を知り、福岡タワーや太宰府天満宮、小倉城などにも行くことができて、福岡の多彩な文化と歴史を感じました。小学校訪問は大変興味深く、カナダの学校とはずいぶん違っていました。ホームステイでは、私の親戚の人たちと楽しい時間を過ごす事ができました。今回のプログラムのおかげで、私は初めて、一人で海外に行き、成長することができたと思います。最後に、世界の他の福岡県人会の子どもたちと交流ができて、大変楽しく興味深い12日間でした。このプログラムに参加させていただき、大変感謝しています</p>	
～親御さんからのメッセージ～	
<p>今回、娘が福岡に行くことができて、とてもよい経験となりました。福岡の親戚宅でホームステイができ、また福岡との絆を深め、そして、福岡の子どもたちとの交流を通して日本文化に触れる事ができました。世界の福岡県人会のお子様たちと行動をともにし、今までのバンクーバーだけの生活とは違う広い世界を知ることができました。彼女がこのプログラムで出会った友達とは、今でもEメールで交流を続けています。今後も、子どもたちが将来の福岡県と県人会の架け橋となる事を期待しています。</p>	

Fグループ



バンクーバー福岡県人会
ホール 英恵 アンジェラ
Hall Hanae Angela

「プログラムで得たこと・学んだこと」

私がこの事業で一番心に残ったことは、日本の小学校に行ったことと、カナダや他の国の福岡県人会からきた友達がたくさんできたことです。最初は恥ずかしかったけれど、同じカナダから来た友達や他の県人会から来た友達ととても仲良くなりました。いつもおしゃべりをして、グローバルアリーナで買い物をしたり、一緒にお風呂に入ったりしました。住んでいる国のこと、自分が行っている学校のこと、好きな歌のことを話しました。舞の里小学校やあやめが丘小学校に行くことは、とても楽しみにしていました。私も小さい頃に日本の小学校に行ったことがあるからです。小学校では、グループで一緒にビュンビュンごまを作ったのが楽しかったです。私は日本語が話せるので、小学校の友達とたくさん話せました。みんなで自分の国のことを発表しました。そして、給食を食べて、鉄棒で遊びました。和紙でうちわを作ったこともとても楽しかったし、福岡市民防災センターでは、震度6の地震を体験し、体がガタガタ揺れて、机の下に潜りクッションを頭に被りました。このプログラムは本当に楽しかったので、もう一度参加したいです。そして、いろいろな国から来た他の福岡県人会の友達ともう一度一緒に遊びたいです。

～親御さんからのメッセージ～

この事業への参加をきっかけに、英恵は以前よりも、人と交流して人間関係を構築する力、人前で自分の意見を伝える力、そして何よりも自立心が養われました。プログラムに参加する前の英恵は、恥ずかしがり屋で人見知りの性質が強く、またカナダにおいて英語の読み書きの習得に集中させようとした結果、日常会話からどんどん日本語を使う割合が減りつつもあり、日本人としてのアイデンティティの確立も危ぶまれていました。ところが、プログラム参加後は、限られた期間にも関わらず、各国の県人会から参加した子どもたちと友情を築き、楽しく過ごした上に、帰国後も子ども達らしいやり方で交流を重ねています。

県人会担い手育成招へい事業の継続的な実施を通して、福岡県は世界中に福岡を「ふるさと」として認識し、それを自分のアイデンティティとして持つ若い人材を生み出しています。彼らが福岡とそれぞれの生まれた国との架け橋となり、恩返しをする未来はすぐそこに来ています。

最後に、福岡県を始め、本事業の継続的な実施にご尽力いただいている関係各所の皆様に、心より感謝を申し上げます。

参加者レポート

リーダー
(引率者)

Aグループ



ブラジル福岡県人会
新垣 ファビオ 要吉
Arakaki Fabio Yokiti

この事業に参加できたおかげで、日本文化をたくさん学び様々な貴重な出会いができました。日本文化をもっと深く理解するだけではなく、いろいろな国の人と協力し、それぞれの文化と考え方を少なくとも吸収する事ができたと思います。
ブラジルからの4人の子どもたちのリーダーとしての役割は、大変なところもありましたが自分自身の成長にもなったと思います。
皆のサポートのおかげで、事業が成功できたと思います。一番大事なことは、皆の協力し合うことだったと分かりました。

Bグループ



在ボリビア福岡県人会
秋吉 京美
Akiyoshi Kiyomi

9カ国から子ども19名、リーダー12名、そして欠かすことができない県費留学生9名がこの事業に参加しました。それぞれの国の文化、習慣と伝統をいろいろと知り、とても良い交流ができました。日本の子どもたちとの交流では伝統的なゲームをしたり、初体験の竹細工、流しそうめん、福笑い、羽つけ、けん玉、また、小学校では掃除や給食を取ったりしました。梅が枝餅や和紙のうちわの作りも習い、皆は大きな関心を示していました。

親身にお世話してくださったホストファミリーの皆様は、私にとって日本の家族であり、親切で心の優しい皆さんです。

この事業にリーダーとして参加して思ったことは、日本と各国の交流は日本の文化や習慣と伝統が世代から世代へ伝わりつづける事、現在の子どもたちに日本語の勉強をさせることです。この事業が末永く続きますように。参加した皆さんには、大きなプラスを得たと思います。

このチャンスを与えてくださった福岡県と福岡県国際交流センターの皆様、ホストファミリーの皆様、心から感謝を申し上げます。有難うございます。

Bグループ



コロンビア福岡県人会
倉富 ウーゴ
Kuratomi Hugo

この度、この事業に参加させていただき、誠にありがとうございます。今回、福岡名物の中で豚骨ラーメンと明太子以外に、苺のあまおうや八女茶、博多織なども有名だということがわかりました。八女伝統王芸館の訪問は、とても素晴らしかったです。

その他、太宰府天満宮や福岡タワー、北九州市の小倉城も、観光地としてとてもきれいでした。福岡市民防災センターでは地震と火事の防災体験ができて、とても勉強になりました。また、子どもたちお小学校交流はとても大切で、日本と外国の子ども両方にとって、勉強になりました。

私は福岡を訪ねることをできたのも、久しぶりで、親戚にも会えて直接話せて、とにかく嬉しかったです。遠距離だと絆が徐々に薄れていくので、直接会えると縁が更に強くなり、福岡に来られて最高でした。また、いつか皆さんにお会いできるのを楽しみにしております。

Cグループ



アルゼンチン福岡県人会
津留 ミカエラ
Tsuru Micaela

今回、県人会担い手育成招へい事業のリーダーとして、古賀市立舞の里小学校と北九州市立あやめが丘小学校で、海外県人会から参加した19人の子どもたちは日本の同じ年の子どもと交流しているのを見て、とても嬉しく思いました。私の国では考えられない規律正しい習慣、小学生の教室掃除、給食の手伝いをしていることに感動しました。日本の遊びのけん玉やお手玉、羽根つきも教えて貰いました。とても面白く楽しかったです。素晴らしい経験をさせて下さった2校の小学校に感謝します。宗像市の小学生たちと竹で水鉄砲を作ったり、流しそめんをしたりしたことも良い思い出になりました。また、福岡県の有名な場所も訪問することができ、八女市で和紙のうちわ作りをして良かったし、福岡市民防災センターでは、日本は災害が多い国であることを実感しました。

今回は、県費留学生OBであり、今福岡県で仕事をしている姉と、4年ぶりに再会できて、大変嬉しかったです。自分の祖先のルーツ、そして日本や他の国の文化にも触れることができました。福岡県、福岡県国際交流センター、家族会の皆さん、ありがとうございました。

C グループ



メキシコ福岡県人会
フェルナンデス 久保 アンジェリーナ
Fernandez Kubo Angelina

今回のこのプログラムを通して福岡県を訪問できたことを、誇りを持っています。2月末に福岡県の青年派遣事業でメキシコを訪問した大学生と福岡県国際交流センターの方々に再会できて、良かったです。

自分の仕事の面から見ると福岡の小学校での経験はとても満足した経験でした。学ぶための努力を見ましたし、そして、生徒たちが学んだことを活用しようとする姿を見ることができました。自分のメキシコでの仕事に大変役に立つと思います。子供たちがチームワークを実践し、お互いと一緒に動くための工夫はとてもユニークで素晴らしいことでした。

そして、今回のリーダー全員は LINE のグループを作り、プログラム終了後も、それぞれの県人会の情報を交換しあっていて、また集まることを考えています。今回お会いできた県費留学生、ホストファミリー、他県人会からの参加者等との緊密なコミュニケーションを続き、また会えるだろうということは自分の人生の一部としてとても印象深いことです。いつかまた会えることをとても楽しみにしています。

D グループ



ペルー福岡県人会
松藤 カルロス
Matsufuji Carlos

この事業に参加した様々な国の子どもたちと共に、現代と伝統的な日本文化両方について、様々な経験をすることができました。参加者全員が真剣に日々の活動に参加し、すぐにみんなの友情の絆が生まれました。事業期間中には、太宰府天満宮や小倉城を訪れたほか、福岡の近代的なモニュメントである福岡タワー、伝統的な食べ物の梅が枝餅作りなどを体験し、楽しい時間を過ごしました。小学校訪問では、皆が温かく迎え入れてくれて、母国とは異なる学校生活を学ぶことができ、日本の小学生とゲームや文化交流を行いました。この事業のスケジュールは、きちんと管理されていて、リーダーは、毎日、翌日のスケジュールなどのためのミーティングを行いました。また、サポートしてくれた県費留学生たちは、皆さん明るくて、とてもいい雰囲気を作ってくれました。

子ども達にこの機会を与えてくださって、本当にありがとうございました。今後も、それぞれの国と日本文化の繋がりを、大切に守らないといけないと思いました。どうもありがとうございました。

Dグループ



パラグアイ福岡県人会
山崎 亜希
Yamasaki Aki

以前、私は県費留学生として初めて日本を訪れ、今回の福岡訪問は、3年前に経験したものと、違う立場だった為、責任感や緊張もまた違うものでした。様々な国から集まった同じルーツの子弟たちにとっては、福岡で出会い言葉の壁を感じながらも同じ時間を共有できた事はとても貴重な体験だったと思います。正直なところ参加する直前まで、上手くやっつけられるか少し不安を感じていましたが、とても明るくおらかな方ばかりで私は救われました。子どもたちにとっては、福岡の何もかもが珍しく、初めて伝統文化に触れる子もいれば、中には興味深さのあまりに日本を良く勉強して来た子もいました。疲れ知らずで、はしゃぐ元気な子どもたちは、見る見るうちに友達になっていき、言葉が通じなくても伝える方法を探し、自作の水鉄砲でびしょびしょになって走り回り、何かをやり遂げた時の満面の笑みを浮かべて様々な表情を見せてくれました。いろいろな意味で視野を広げる機会になった気がします。

短期間に詰め込んだスケジュールは、無事に終了して、特に体調不良者も目立たず、時差ボケにもならず済み、楽しい日々はあっという間に過ぎました。また「福岡」を通して新たな繋がりができたことは嬉しい限りです。一期一会の意味が改めて実感できたと思います。縁があれば、また皆さんとは是非ともお会いできるのを楽しみにしていますので、これからもよろしくお願ひします。

今後もこの事業が継続されますこと願ひ、参加させていただいたことに、お礼申し上げます。ありがとうございました。

Eグループ



ハワイ福岡県人会
タカザワ キミ
Takazawa Kimi

福岡県からの移民の子孫のための短期プログラムは、私たち日系人のオハナ(ハワイ語で“家族”の意味)と福岡のオハナをより近づけてくれました。私の息子は3年前に子弟としてこの事業に参加し、私は今夏、幸運にもリーダーとして参加することができました。この事業が時間の隔たりを埋めてくれるものだと思います。

私のアキヨシ家は、過去4世代にわたって福岡の親族とほとんど連絡を取ってきませんでした。福岡で親戚に会ったとき、私たちが共通して持つ家系の歴史はより深まり、広がり、家族のルーツを理解することができました。福岡に住む私の親族が、ハワイを訪ねてくれる際には、彼らがまだ会ったことのない、カリフォルニアに住む親族と引き合わせるつもりです。この事業が私たちに与えてくれたものは、かけがえのない、貴重なものです。

Eグループ



南加福岡県人会
 広中 恵
 Hironaka Megumi

私はプログラムを通して海外各地における日系コミュニティー福岡県人会の繋がりの大切さを実感しました。南米、ハワイ、カナダなどから参加したリーダーや県費留学生の皆さんと話して、各地の日系コミュニティーの状況や、歴史、日常生活などを興味深く聞かせてもらいました。特に各地での日本語と日本文化の継承への熱心さには、心を打たれるものがありました。それぞれの違う文化や国柄にありながらも、日本人としての誇りを持続しているのはとても素晴らしいことです。それも、各地の県人会、特にアクティブな福岡県人会が皆さんの繋がりになっているからだと思います。そしてそれを、グローバルな形でサポートする福岡県の支えがあってこそ成し遂げられることだと思います。

この事業は、まさに様々な世代の日本人としての誇りを再確認し、先人や家族の故郷 福岡への理解を深める絶好の機会でした。私達がそれぞれに福岡での体験を通して感じ取ったものを、各国の福岡県人会へ貢献出来ればと思います。小学校時代を福岡市で過ごした私は、グループの小学校6年生の子ども達と自分を重ねながら、懐かしい福岡を見つめ直すことが出来ました。国際交流センター、家族会 やホストファミリー、皆さんのサポートがあったからこそ、このプログラムがこれだけ心に残る思い出になったと思います。福岡の皆さんの心の暖かさ、もてなしの素晴らしさのお陰だと思います。

このプログラムに参加させて頂き、南加福岡県人会と国際交流センターの皆さんにとっても感謝しています。今回知り合ったグループのみんなとまた出会う事を心から願っています。

Fグループ



トロント福岡県人会
 富永 花
 Tominaga Hana

2019年度の県人会担い手育成招へい事業にトロント、カナダから私はリーダーとして、さくらさんは子弟として参加する機会を得ました。

私自身も含めて、すべての参加した子ども達が、カナダについてのプレゼンテーションを楽しんだ事だと思います。そして、子どもたちは2校の小学校で費やした時間から、たくさんの事を学びました。

この事業はたくさんの異なった側面: 芸術、食品、ダンス、音楽、学校、文化等を学ぶことができました。

私はこの事業から、子どもたちが福岡の事についてより多く理解したこと、福岡でより多くの新しい友達ができて、そして、自国に帰ってから、彼らの各々の福岡県人会をより成長させ続けていくと信じています。

私は彼らが、次の機会には、県費留学生として福岡へ行ってほしいと思っています。私はこの事業に参加する機会をいただけたことに、とても感謝しています。

Fグループ



バンクーバー福岡県人会
 タグチ ダイサク デイビッド
 Taguchi Daisaku David

福岡県人会の担い手育成招へい事業をそれぞれの国の子どもたちとリーダーとして参加させていただきました。この11日間のうちに、いろいろな文化の事業と交換を身に着け、たくさん勉強になりました。特に印象に残って良かった思った事は小倉城に行ったこと、2校の小学校にお邪魔させていただけた事、八女市で日本の伝統工芸を経験し、福岡市民防災センターへ行き、宿泊先であるグローバルアリーナや福岡県庁へお邪魔させていただいたこと、そして食事が大変良かったことです。

天気が悪く、観光場所へ行けなかったことは逆に良かったと思います。同じく、福岡タワーに行けたのは良かったと思いますが、この事業の1つとして「観光スポット」は行かなくてもいいのではないかと思います。観光スポットはホームステイ先の方に連れて行ってもらった方が良いと思います。もっと、福岡県の人たちが毎日どのように過ごしているか(特に小学校6年生と中学校1年生)について、子どもたちに見せた方が、勉強になるのではないかなと思います。

全体的には参加させていただいたこの事業は、素晴らしいプログラムでした。

Fグループ



シアトル・タコマ福岡県人会
 山下 カスミ
 Yamashita Kasumi

この事業のお陰で、外国で生まれ育った参加者の私達は「福岡」と切っても切れない絆で結ばれていることを実感しました。初日に全国からの11歳児とそのリーダーに出会い、日本語、英語、スペイン語、ポルトガル語が飛び交う中、共通点を探し、一瞬のうちに世界中の友達ができました。母国が異なっても、みな同じ日系人。この繋がり世界は、一回り小さくなったようでした。「日本は、初めて」だと言う子が多かったにも関わらず、皆、日本の生活や習慣に溶け込み、帰る頃には「太宰府の梅が枝餅を食べたい」、「博多あまおうアイスを食べたい」、「カルピスソーダにする？それともミツ矢メロン？」などのコメントが聞こえてきました。朝食の納豆やモズクは、いつも大好評でした。

「県人会担い手育成招へい事業」は、日本にいる福岡県人とだけではなく、北中南米に住む私たちの新しい「家族」と交流ができる場を与えて下さいました。太宰府天満宮、小倉城、そして八女伝統工芸館を見学したり、市内の小学生と触れ合ったりしながら日本をより好きになる子ども達の姿を見て、次世代の「福岡県人」を育てる重要性を改めて感じました。シアトルへ戻ってからも北中南米の福岡県人会を通して、皆さんと新たな国際交流事業を企画し、縦横の繋がりを意識しながら「グローバル福岡県人」を育てていきたいと思っています。

参加者レポート

福岡県移住者

子弟留学生

Aグループ	
	ブラジル福岡県人会 シルバ 石井 ジェゴ Silva Issy Deigo
<p>最初10日間グローバルアリーナで泊まらなければいけないと聞いた時は、今住んでいる寮を長い間離れなければいけないので嫌でした。しかし、この事業に参加できてとても良かったです。子ども達とリーダー達にとっては、この日本での10日間はハードスケジュールだったと思います。</p> <p>この事業で、特に印象に残ったのは小学校訪問でした。日本の小学生と触れ合う機会があり、子ども達にとっては一生忘れられない経験です。学校では、自分の国について発表したり、日本の伝統的な遊びを教えてもらい一緒に遊んだり、海外ではあまりしない学校の掃除を、グループごとに担当の場所で助け合っきれいになり、給食の時間に小学生達がエプロンに着替え、当番制で皆が一人一人それぞれの責任を持ち給食をよそって準備してくれて、全員と一緒に「いただきます」と「ごちそうさまでした」と挨拶をしたこと全てが良い経験でした。そして、私は小学校で、日本語からポルトガル語の通訳を皆さんの前でする機会を頂いて良い経験となりました。</p> <p>食事をする時は、できるだけ「いただきます」と挨拶をするようにしました。この事業後は、寮で県費留学生の皆と食事する時は、「いただきます」というようになりました。この事業では、手伝いをするだけでなく子ども達からも学ぶ事がありました。もし今後機会があれば、リーダーとしてこの事業に参加したり、将来可能であれば、自分の子どもをこの事業に参加させたいと思いました。</p>	
Aグループ	
	ブラジル福岡県人会 池尻 明美 カリナ Ikejiri Akemy Karina
<p>この事業の間、最初から最後まで多くの経験がありました。楽しくて面白かったですが、悲しくて、やりがいもありました。12日間、いろいろな国の人たちが集まったことは、子ども、リーダー、県費留学生みんなにとって非常に興味深いものでした。</p> <p>特に子ども達は、国籍が異なり、言葉の壁があってもお互いに交流し、友達を作り、日本をととても楽しむことができていました。その反面、同じ年齢であっても、経験、行動、思考は非常に異なることに気付きました。似たような背景を持つ、さまざまな国に住んでいる日系人に会えることは、非常に興味深いことでした。事業期間中は、皆食事の時に「いただきます」や「ごちそうさまでした」と言ったり、福岡の観光地を知り、和紙で扇子を作ったりするなど、日本文化を知りながら生活することができました。日本の小学校の日常生活について、知ることができたのは非常に興味深く、日本の教育はとてもおもしろく、驚くべきもので、ブラジルの教育制度とは全く違いました。私は子ども達から多くのことを学び、彼らが大人になる時に、いつか県費留学生となって、福岡とのルーツとや関係を維持してくれることを望みます。</p> <p>福岡県国際交流センターの皆さんに感謝します。</p>	

Bグループ



在ボリビア福岡県人会
岩瀬 ケビン 司
Iwase Kevin Tsukasa

この事業は、子どもたち、リーダー、そして我々県費留学生にとって、かけがいのない良い経験になりました。それぞれがいろいろな国から来ていたので、言葉の違いで仲良くなれるか心配でしたが、子どもたちは言葉が通じなくても、すぐに仲良くなったので嬉しいと思い安心しました。この事業ではいろいろな場所に行き、様々な体験もしました。子どもたちの中には、私のことをお父さんと呼ぶ子もいて、彼女はとても明るくて面白い子でした。日が経つごとに子どもたちと仲良くなっていき、最後の日には子どもたちは、「まだ帰りたくない」「日本に残りたい」という子もいて、私も「まだ帰ってほしくない」気持ち、悲しい気持ち、まだいてほしい気持ちが溢れていました。

空港で子どもたちと別れる時は、私はとても悲しくなり、泣いてしまいました。それを見た子どもたちもつられて一緒に泣いてくれました。

福岡県国際交流センター、海外福岡県人会の皆さん、こんなすばらしい機会をくれてとても感謝しています。皆さん、本当にありがとうございました。

Bグループ



コロンビア福岡県人会
坂本 サチ アンドレア
Sakamoto Sachi Andrea

この事業は、福岡から海外に移民した方たちの子孫を、故郷に連れてくるという信じられないほど素晴らしいものです。1週間で、多くの国の文化を知ることができるとは想像もしていませんでした。これらの国々での、日系人コミュニティーの仕組みと、日本文化との関係についても学びました。また、この期間中に子どもたちの成長も見られました。最初は非常に恥ずかしがり屋で静かで友達が作れなかった子も、このプログラムが進むにつれて友達ができ日本語も少し喋れるようになりました。

日本の小学校で、日本人の子どもたちと一緒に過ごせたことは、文化交流をする最高の機会でした。日本の子どもたちは、外国人と遊ぶことができおそらく聞いたこともない新しい国について学ぶことができ、とても幸せだったと思います。最高の経験の1つは、日本では、教室やトイレなどを掃除するために、子ども達全員がグループに別れて、分担して掃除を行っていることです。みんなが協力し合い、責任をもって掃除していました。ラテンアメリカでは学校で掃除をすることはありません。子どもやリーダー、両方にとって、自分たちが仕事や勉強をしている場所を掃除するという事の大切さを学ぶことができました。福岡市民防災センターに行けたことも良い経験で、子どもたちは、災害時に何をすべきかを学ぶことができました。

この事業で最も重要なことは、出会った人々とのつながりだと思います。福岡県をルーツに持つ日系人のコミュニティーは世界中のいろいろな国にあり、絆は強いままであることを確認できました。すべての子孫たちが彼らの文化や自分たちのルーツについて、学ぶことができました。この事業に参加したことで、日本語を学びたいと思う子どももいるかもしれません。多くの子どもたちは、彼らが応募できる年齢になったら彼らも県費留学生として、日本に来て勉強したいと言っていました。

Cグループ



アルゼンチン福岡県人会
杉野 ニコラス アレハンドロ
Sugino Nicolas Alejandro

日本に来てから、7月は一番忙しい月でした。この事業はいろいろな国から、リーダーと日系人の子どもたちが福岡に集まる事業です。この期間中は、私たちも寮から出て、グローバルアリーナにリーダーと子どもたちと一緒に泊まりました。

初めは、子どもたちが両親から離れて、不安で寂しそうでした。また、それぞれが話せる言葉が違うので、内気な子どもは友達を作れませんでした。しかし、数日がたち、一緒に泊まって遊んで、食事をしていたら、いつのまにか、皆が友達になりました。言葉が違うにもかかわらず、子どもたちはいろいろな経験を一緒に楽しむようになりました。活動がないときは、子ども部屋で遊んだり、外でスポーツをしたり話をしたりして、とても楽しかったです。リーダーと県費留学生はゲームや遊びを考えて、とても頑張りました。

日本の小学校に初めて行ったときは、驚きました。日本の小学生は丁寧で、自分の学校は自分たちで掃除をして、海外の同じ年齢の子どもたちと比べて、もっと責任感が強く、大人みたいだと感じました。私は日本語が上手ではないので、通訳が必要な時は大変でしたが、たくさん学ぶことができました。

この事業の終わりに、子どもたちは、もっと長く福岡にいたいと言っていました。寂しそうな顔をしていたことが、この事業がとても楽しかった証拠だと思います。

私が子どものころ、この事業について知らなかったので参加できませんでしたが、参加できなかったことを後悔しています。

Cグループ



メキシコ福岡県人会
寺本 飯田 利生
アルツーロ Teramoto Iida Toshio Arturo

大学の夏休み前に、この事業に参加しました。大学が忙しくて、子どもたちと毎日一緒にいられませんでした。良い思い出を作れました。

今回は、アルゼンチン、ボリビア、コロンビア、カナダ、アメリカ、メキシコ、パラグアイ、そしてブラジルからリーダーと子どもたちが来ました。子どもたちは、すごく明るくて感動しました。彼らと一緒に、福岡を観光したり食事したり、サッカーで遊んだり、とても良い思い出になりました。短い間でしたが、いろいろな国の違いを学べて楽しかったです。

思い出に残ったことは3つです。皆と一緒に太宰府天満宮へ行き、梅ヶ枝餅を作ったり観光したり美味しいお弁当を食べました。2つ目は、男子皆と一緒に、大浴場に入ったことです。子どもたちは、お風呂で遊んだり笑っていました。3つ目は、皆と一緒に毎日ご飯を食べたことです。県費留学生たちは、毎晩一緒に晩御飯を作り食べていますが、この事業の時は、留学生は自分たちは料理をしなくていいし、いつも量が多くて美味しく、すごく嬉しかったです。

このような素敵な事業に参加できて、嬉しかったです。

Dグループ	
	ペルー福岡県人会 シバタ サウリ ルイス アルヘン コイチ Shibata Sauri Luis Angel Koichi
<p>この事業について最初に聞いた時、私はあまり興味を持ちませんでした。ただ子どもを福岡に招きお世話をする事だと聞いていて、それは退屈そうで難しいことだとは思っていませんでした。</p> <p>初めて子どもたちに会う日が来たとき、私は疑問に思ったことがあります、それは、「彼らは違う言語を話すのに、お互いにどのようにコミュニケーションをとるのか?」、「日本語が話せない人がいる場合、すべての説明を理解できるのか」ということです。</p> <p>最初は、サッカーをして一緒に遊び、言語の違いにもかかわらず、一部の子ども達は楽しむことができたことに驚きました。この事業のキーポイントになった活動の一つは、竹で作る水鉄砲作りでした。この時は、男の子も女の子も全員と一緒に楽しみ、言語の壁をとっばらって、一緒に楽しむことでコミュニケーションをとっていました。この後から、ゲーム、食事、会話など、皆がもっと一緒にいる事が多くなりました。</p> <p>皆が最も興味を持ったのは、買い物をした時です。子どもたちにとって最も待ち望んでいた瞬間だと思います。それは「買う」という単純な行為だけではなく、自分たちの母国とは違うものがたくさんあって、いろいろなものに興味、深々でした。</p> <p>この事業の目的である移民した子孫の人達が、自分たちのルーツである福岡を知ることには達成できたと思います。また、彼らはこの事業の良い思い出と経験を持ち帰り、彼らの国の人たちに多くのことを伝えてくれると思います。</p>	
Eグループ	
	南加福岡県人会 堀 大志 Hori Taishi
<p>7月に行われたこの事業は、様々な国の福岡県人会からきた子どもたちとリーダーの方々福岡へ来ました。そして、宗像市のグローバルアリーナで10日間一緒に泊まって、リーダーの方々とともに子どもたちのお世話をしました。いろいろな伝統的な体験をして、子どもたちと一生懸命に楽しみました。海外からきた、たくさんの明るい人達と出会えたことも、とても良かったです。さらにたくさんの思い出を作ったり新しい友達も出来たり、とっても楽しかったです。</p> <p>アメリカ大陸のさまざまな国から、19人の子どもたちと12人のリーダーたちが参加して、自分の母国であるアメリカからは、4人の子どもと3人のリーダーがいました。</p> <p>この10日間はとても忙しくて、予定がいっぱいあり、様々な活動をしました。例えば、流し素麺や水鉄砲作り、近くにある日本の小学校を訪問したりしました。小学校を訪問した時に、海外の子どもと日本人の小学生が交流しました。</p> <p>機会があれば、私はリーダーとして、またこの事業に参加したいと思います。</p>	

Fグループ



ブラジル福岡県人会
江藤 エンリッケ イチロウ
Eto Henrique Itiro

この事業で、県費留学生の役割は、海外県人会から参加したリーダーと一緒に、子どもたちの世話をする事でした。今回は、ブラジル、パラグアイ、ボリビア、ペルー、アルゼンチン、コロンビア、メキシコ、カナダとアメリカの県人会から参加者たちが来ました。

この事業期間中に、子どもたちといろいろな事を経験できました。私達は太宰府天満宮で梅が枝餅を作ったり、舞の里小学校とあやめが丘小学校を訪れたり、小倉城を見学し、福岡市民防災センターに行ったり、福岡タワーにも行きました。子ども達の出身地では、このような活動はできません。また、時間があいた時には子ども達と一緒にバレーボールやラグビーをしました。少し疲れましたが、とても楽しかったです。子ども達がこの事業に参加したことで、日本や福岡県のことを好きになってくれたら嬉しいです。

外国の子ども達と日本の小学生が交流できたことは、とても面白かったです。同じ言語を話さなくても、彼らはなんとかジェスチャーを使って交流していました。

この事業では、同時に数人の子ども達の世話をしなければならなかったのも、私もより多くの知識と忍耐力を得たと思います。

2019.7.5~16

**Short Term Visit Program for
Young Descendants of Immigrants
from Fukuoka Prefecture**